

平成 29 年 度
航 空 旅 客 動 態 調 査
報 告 書
＜日集計表＞

平成 30 年 10 月
国 土 交 通 省 航 空 局

平成 29 年度 航空旅客動態調査 報告書
＜日集計表＞

目 次

目次

第 1 部 調査概要

1. 航空旅客動態調査について.....	1-1
2. 調査内容	1-1
3. 調査対象	1-4
4. 調査方法	1-4
5. 調査実施日	1-4
6. 調査票回収状況	1-5
7. 日集計表：利用に際しての留意事項について.....	1-6

第 2 部 平日調査集計結果

平日 表 1 OD表（空港間純流動）	2-1
平日 表 2 OD表（空港間総流動）	2-9
平日 表 3 OD表（県間流動）	2-17
平日 表 4 空港別 出発地・目的地・現住所.....	2-21
平日 表 5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数.....	2-163
平日 表 6 OD別 旅行目的.....	2-166

平日	表 7	OD別	旅行日数.....	2-173
平日	表 8	OD別	旅行行程.....	2-179
平日	表 9-1	路線別	利用航空券の種類.....	2-187
平日	表 9-2	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....	2-194
平日	表 9-3	OD別	利用航空券の種類.....	2-199
平日	表 9-4	OD別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....	2-205
平日	表 10	OD別	乗り換え空港.....	2-209
平日	表 11-1	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無.....	2-231
平日	表 11-2	出発空港別	代表アクセス手段・到着空港別 代表イグレス手段.....	2-239
平日	表 12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数.....	2-249
平日	表 13	出発空港別	アクセス経費.....	2-255
平日	表 14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間.....	2-259
平日	表 15-1		空港間移動の手段.....	2-263
平日	表 15-2		空港間移動の所要時間.....	2-264
平日	表 15-3		空港間移動の経費.....	2-265
平日	附表			2-267

第3部 休日調査集計結果

休日	表 1	OD表（空港間純流動）	3-1
休日	表 2	OD表（空港間総流動）	3-9
休日	表 3	OD表（県間流動）	3-17
休日	表 4	空港別 出発地・目的地・現住所	3-21
休日	表 5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	3-167

休日	表 6	OD別	旅行目的.....	3-169
休日	表 7	OD別	旅行日数.....	3-177
休日	表 8	OD別	旅行行程.....	3-183
休日	表 9-1	路線別	利用航空券の種類.....	3-191
休日	表 9-2	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....	3-198
休日	表 9-3	OD別	利用航空券の種類.....	3-203
休日	表 9-4	OD別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）.....	3-209
休日	表 10	OD別	乗り換え空港.....	3-213
休日	表 11-1	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無.....	3-235
休日	表 11-2	出発空港別	代表アクセス手段・到着空港別 代表イグレス手段.....	3-243
休日	表 12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数.....	3-253
休日	表 13	出発空港別	アクセス経費.....	3-257
休日	表 14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間.....	3-261
休日	表 15-1		空港間移動の手段.....	3-265
休日	表 15-2		空港間移動の所要時間.....	3-267
休日	表 15-3		空港間移動の経費.....	3-268
休日	附表			3-269

第 1 部

調 査 概 要

1. 航空旅客動態調査について

航空旅客動態調査（以下、本調査と呼称する）は、わが国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的としている。なお、調査は統計法に基づく一般統計調査として、国土交通省航空局が国内航空各社のご協力を頂きながら、実施をしているものであり、第1回の昭和48年調査より、隔年での実施を基本とし、平成29年度調査は第24回次の調査となっている。

2. 調査内容

本調査は、以下に示す調査項目にて構成しており、各設問は次頁の調査票見本に示すとおりである。本調査は、「平日調査」と「休日調査」の2回を実施しているが、いずれも全く同一の調査票を用いて実施している。ただし、双方の調査票を区別するため、平日調査票は黒色、休日調査票は濃青色にて印字した調査票を用いて実施している。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| (1) 出発地 | (8) 旅行目的等 |
| (2) 空港アクセス実態 | ① 旅行目的 |
| ① 利用交通手段 | ② 旅行日数 |
| ② 所要時間 | ③ 旅行行程（往復行程の相違） |
| ③ 経費 | ④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港 |
| ④ 空港滞留時間 | ⑤ 同行者数 |
| ⑤ 自家用車、社用・公用車での来港者の駐車場利用の有無 | ⑥ 見送り人数 |
| (3) 出発空港 | (9) 個人属性 |
| (4) 利用航空券の種類・座席の種類 | ① 性別 |
| (5) 乗継空港・到着空港 | ② 年齢 |
| (6) 到着空港イグレス交通手段 | ③ 職業 |
| (7) 目的地 | ④ 年収（税込み） |
| | ⑤ 現住所・国 |
| | ⑥ 家族同行者の属性（性別・年齢・職業・年収） |

平成 29 年度 航空旅客動向調査 調査票 見本 (1)

000001

秘 **航空旅客動態調査票**

Travel Survey for Domestic Air Passengers

政府統計

国土交通省では、飛行機を利用して移動されている皆様がより安全・快適に旅行をしていただけるよう、今後の航空政策の立案企画に活用するため「航空旅客動態調査」を実施しております。この調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、皆様に迷惑をおかけすることはありません。

お手数をおかけしますが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

This questionnaire is part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Please cooperate to utilize for aviation policy in the future.

※ご回答の前に、ご一読下さい。

1. 日帰り旅行の方: 行き便でご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう一度ご回答下さい。
2. 国内線を乗り継いで目的地に行かれる方: 本日、既に調査にご協力頂いた場合はご回答頂く必要はありません。
3. 現住所が同一のご家族で旅行されている方: 代表者の方1名様のみご回答下さい。

ー 以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号を○で囲んで下さい。ー

Please provide the information requested below.

The following questions are only available in Japanese except page 4(questions 5 and 6).
If you don't understand Japanese, all the tourists, please answer page 4(questions 5 and 6) only.

問 1. 本日の旅行行程についてお聞きします。

問1-1: 本日の出発地はどこですか。※出張や旅行からお帰りの方は、出張先・旅行先が出发地

1. 現住所(自宅等)が本日の出発地
2. 現住所以外が本日の出発地

※本日の出発地をご記入下さい。

都道府県	区市	町村
------	----	----

◀ 出発地の住所がわからない方 ▶

- ・出発地の駅名、ホテル名、観光地名等をご記入下さい。
- ・出発地が海外の方は国名をご記入下さい。

問1-2: 本日の目的地はどこですか。

※出張や旅行へ行かれる方は、出張先・旅行先が目的地

1. 現住所(自宅等)が本日の目的地
2. 現住所以外が本日の目的地

※本日の目的地をご記入下さい。

都道府県	区市	町村
------	----	----

◀ 目的地の住所がわからない方 ▶

- ・目的地の駅名、ホテル名、観光地名等をご記入下さい。
- ・目的地が海外の方は国名をご記入下さい。

質問は裏面に続きます →

1

問1-3: ご搭乗便の出発空港及び到着空港をご記入下さい。

(出発空港) (到着空港)

空港 → 空港

.....→ 目的地

.....→ 空港 → 空港

(乗り継ぎ先空港①) (乗り継ぎ先空港②)

※飛行機を乗り継ぐために陸路を移動した場合 ⇒ 乗り継ぎ先空港記入
(羽田空港⇄成田空港、関西空港⇄伊丹空港⇄神戸空港⇄関西空港 等)

問 2. 出発地からご搭乗便の出発空港までの移動についてお聞きします。

問2-1: ご搭乗便の出発空港までに利用した交通機関を順番に番号でご記入下さい。

出発地 (問1-1) → ○ → ○ → ○ → ○ → 出発空港 (問1-3)

交通機関の番号を○の中に記入

1. 新幹線	2. 有料特急(新幹線除く)	3. JR在来線(新幹線・特急除く)
4. 私鉄・地下鉄	5. モノレール	6. 空港直行バス(主要駅から空港直行)
7. 高速バス(空港直行以外)	8. 貸切りバス・観光バス	9. 路線バス・市内電車
10. タクシー・ハイヤー	11. 自家用車・社用・公用車	12. レンタカー
13. 船	14. 国際線	15. その他(徒歩・自転車等)

◀ 国際線を利用された方 ▶

※日本到着空港をご記入下さい。

空港 ⇄ 国際線到着空港から直接ご搭乗便に乗り継いだ方は問3へ

1. 車は空港内の駐車場に停めている。
2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。
3. 車は同乗者が乗って帰った。

問2-2: 本日の出発地からご搭乗便の出発空港までの所要時間をお答え下さい。

※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

1. 30分以内	2. 31分～1時間	3. 1時間1分～1時間30分	4. 1時間31分～2時間
5. 2時間1分～2時間30分	6. 2時間31分～3時間	7. 3時間1分以上	

問2-3: 本日の出発地からご搭乗便の出発空港までの一人当たりの交通費をお答え下さい。

※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

1. 1,000円以下	2. 1,001～2,000円	3. 2,001～3,000円	4. 3,001～4,000円
5. 4,001～5,000円	6. 5,001～10,000円	7. 10,001円以上	

問2-4: 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか。

時間 分前

2

平成 29 年度 航空旅客動向調査 調査票 見本 (2)

問 3. ご搭乗便の到着空港（最終乗継先空港）から目的地までの移動についてお聞きします。

問3-1: この飛行機の到着空港から目的地までの交通機関を、利用予定の順に番号でご記入下さい。
※国内線乗り継ぐ方は、最終乗継先空港から目的地までの交通機関をご記入下さい。

到着空港
最終乗継先空港
(問 1-3)

目的地

交通機関の番号を○の中に記入

1. 新幹線
4. 私鉄・地下鉄
7. 高速バス(空港直行以外)
10. タクシー・ハイヤー
13. 船
16. わからない

2. 有料特急(新幹線除く)
5. モノレール
8. 貸切りバス・観光バス
11. 自家用車・社用・公用車
14. 国際線

3. JR在来線(新幹線・特急除く)
6. 空港直行バス(主要駅から空港直行)
9. 路線バス・市内電車
12. レンタカー
15. その他(自転車・バイク・徒歩等)

◀ 国際線を利用される方 ▶
※日本出発空港をご記入下さい。

空港

問 4. あなたご自身とご家族についてお聞きします。

問4-1: 3才以上の旅行者についてお答え下さい。(ご本人、ご家族以外も含みます)

_____ 人

問4-2: ご自身の性別・年齢・職業・年収をご本人欄に番号でご記入下さい。
※家族1から家族5の欄には、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてご記入下さい。

	選 択 肢	記入例	ご本人	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
性別	1. 男 2. 女	1						
年齢	1. 14 歳以下 2. 15~19 歳 3. 20~24 歳 4. 25~29 歳 5. 30~34 歳 6. 35~39 歳 7. 40~44 歳 8. 45~49 歳 9. 50~54 歳 10. 55~59 歳 11. 60~64 歳 12. 65~69 歳 13. 70~74 歳 14. 75~79 歳 15. 80 歳以上	6						
職業	1. 管理的職業(役員・管理職員) 2. 専門・技術・事務関係職業 3. 販売・サービス関係職業 4. 農林漁業関係職業 5. 生産・運輸関係職業 6. その他の職業 7. 中学生以下 8. 高校生以上の学生 9. 主婦・主夫(職業従事者を除く)	2						
年収	1. なし 2. 100 万円未満 3. 100~199 万円 4. 200~299 万円 5. 300~399 万円 6. 400~499 万円 7. 500~699 万円 8. 700~999 万円 9. 1,000~1,499 万円 10. 1,500~1,999 万円 11. 2,000 万円以上	6						

* 年収についての説明は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空政策の参考とすることをお聞きしています。

問4-3: 空港までのお見送りの方についてお答え下さい。(小学生以上)

1. 見送りはない 2. 見送りがあった _____ 人

質問は裏面に続きます

3

問 5. 現住所についてお答え下さい。(Question5. Please answer for the current address.)

<日本にお住まいの方 Japan residents only>

現住所 City of Residence	都・道 府・県 State/Metropolis	区・市 郡 City/District	区・町 村 Ward/Town/Village
---	---	--	--

<日本以外にお住まいの方 Non-Japan residents only>

お住まいの国 Country of Residence	お住まいの国と国籍は同じですか? Is your country and nationality are the same? 1. はい Yes 2. いいえ No 国籍 Nationality
---	---

問 6. 今回の旅行についてお聞きします。(Question6. Please answer for this trip.)

問6-1: 旅行の主な目的をお答え下さい。What is the main purpose of your trip?

1. 仕事 Business	2. 観光 Sightseeing	3. 観光以外の私用・帰省 Private/Visiting Friends or relatives	4. その他 Other
----------------------------------	-------------------------------------	---	--------------------------------

問6-2: 旅行日数をお答え下さい。How many days is your trip?

1. 日帰り One day	2. 宿泊を伴う旅行 Two days or more
全体日数 _____ 泊 _____ 日 本日の行程 _____ 日目 All schedule Nights Days Which day of your trip is today? (EX: 1st, 2nd)	

問6-3: 旅行の帰り(または行き)に、現在と同じ航空路線を利用しますか(しましたか)。
Are your inward and outward-bound flight routes the same?

1. 利用する(利用した) Same route	2. 他の航空路線を利用する(利用した) Different route	3. 他の交通機関を利用する(利用した) Different form of transportation
4. 転居・赴任等により片道の旅行 One way	5. 未定 undecided	

問6-4: ご搭乗されている便の航空券の種類をお答え下さい。What is your ticket type?

1. 普通運賃 Normal fare	2. 往復割引 Round-trip discount	3. 乗継割引 Transit discount	4. マイレージ特典 Mileage	5. 回数券 Coupon tickets
6. 団体運賃・パッケージツアー等 Package tours		7. その他割引運賃(旅割、先得、バーゲン等) Others discount		

◀ 1, 2, 3, 7 を選択された方 ▶ 円/人 (JPY/1person)
(If you chose 1,2,3,7)

※ご搭乗便(片道)の購入料金をご記入下さい。
How much is your one-way ticket?

問6-5: ご搭乗されている便の座席の種類をお答え下さい。What is your seat type?

1. 普通席 Economy	2. 普通席以外(ファーストクラス、クラスJ: JAL、プレミアムクラス: ANA等) First/Business, etc
----------------------------------	---

ご協力ありがとうございました。
Thank you for your cooperation.

4

3. 調査対象

本調査は、調査実施日に運航する、国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用する、全航空旅客を対象としている。

4. 調査方法

本調査の調査方法は、国内航空各社（20 社）からのご協力を得て、原則として客室乗務員が調査対象者（航空旅客）に、航空機内において調査票を配布・回収する形式にて行っている。

ただし、機内での配布・回収が困難な航空便（フライト時間が短い、客室乗務員が乗務しない 等々）においては、搭乗口にて配布・機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席に調査票をセットして機内で回収する方法、搭乗手続き時に職員が調査票を配布・搭乗前に回収を行う方法等を用いている。

5. 調査実施日

本調査は、平日と休日の旅客流動特性の違いを把握するため、平成 17 年度より平日調査と休日調査の 2 回（各 1 日）を行っている。

平成 29 年度調査においては、調査日を「平成 29 年 10 月 22 日（日）【休日調査】」、「10 月 25 日（水）【平日調査】」と設定して実施した。なお、平日運航便のうち、水曜日に運航のない曜日運航便については、10 月 26 日（木）、27 日（金）のいずれかの運航日を調査実施日としている。

また、翌週の同じ曜日を調査予備日として設定し、天候不良等で調査を実施できなかった一部の航空便に対して、再調査を行っている。

6. 調査票回収状況

調査実施日における平日・休日調査別の旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

平成 29 年度 航空旅客動態調査 航空会社別平日・休日調査別旅客実績・調査票回収結果

項 目 航 空 会 社	平日調査					休日調査					計				
	提供座席数 (A)	旅客数 (B)	搭乗率(%) (B/A)	回収数 (C)	回収率(%) (C/B)	提供座席数 (A)	旅客数 (B)	搭乗率(%) (B/A)	回収数 (C)	回収率(%) (C/B)	提供座席数 (A)	旅客数 (B)	搭乗率(%) (B/A)	回収数 (C)	回収率(%) (C/B)
株式会社日本航空グループ (JAL・JAC・JTA・RAC・HAC)	131,382	98,044	74.6%	56,471	57.6%	132,006	103,056	78.1%	57,365	55.7%	253,832	195,371	77.0%	113,836	58.3%
全日本空輸株式会社 (ANA)	163,024	113,714	69.8%	66,122	58.1%	166,948	124,540	74.6%	68,023	54.6%	329,972	238,254	72.2%	134,145	56.3%
株式会社A I R D O (ADO)	13,848	9,023	65.2%	5,938	65.8%	14,136	12,008	84.9%	8,082	67.3%	27,984	21,031	75.2%	14,020	66.7%
天草エアライン株式会社 (AMX)	480	237	49.4%	28	11.8%	480	231	48.1%	50	21.6%	960	468	48.8%	78	16.7%
Peach Aviation 株式会社 (APJ)	10,080	7,911	78.5%	3,684	46.6%	10,440	5,602	53.7%	1,160	20.7%	20,520	13,513	65.9%	4,844	35.8%
新中央航空株式会社 (CUK)	456	288	63.2%	265	92.0%	494	353	71.5%	341	96.6%	950	641	67.5%	606	94.5%
株式会社フジドリームエアラインズ (FDA)	5,712	3,473	60.8%	3,470	99.9%	5,712	4,156	72.8%	2,983	71.8%	11,424	7,629	66.8%	6,453	84.6%
アイベックスエアラインズ株式会社 (IBX)	3,780	2,903	76.8%	1,158	39.9%	3,780	3,258	86.2%	1,610	49.4%	7,560	6,161	81.5%	2,768	44.9%
ジェットスター・ジャパン株式会社 (JJP)	11,880	9,821	82.7%	5,101	51.9%	16,920	12,763	75.4%	6,341	49.7%	28,800	22,584	78.4%	11,442	50.7%
オリエンタルエアブリッジ株式会社 (ORC)	468	314	67.1%	230	73.2%	936	509	54.4%	447	87.8%	1,404	823	58.6%	677	82.3%
株式会社スターフライヤー (SFJ)	9,000	7,441	82.7%	2,819	37.9%	9,600	7,475	77.9%	3,829	51.2%	18,600	14,916	80.2%	6,648	44.6%
春秋航空日本株式会社 (SJO)	2,268	1,155	50.9%	867	75.1%	2,268	1,408	62.1%	821	58.3%	4,536	2,563	56.5%	1,688	65.9%
スカイマーク株式会社 (SKY)	24,780	18,835	76.0%	11,970	63.6%	24,426	20,663	84.6%	11,625	56.3%	49,206	39,498	80.3%	23,595	59.7%
株式会社ソラシド・エア (SNJ)	11,832	7,900	66.8%	4,812	60.9%	11,832	10,135	85.7%	4,938	48.7%	23,664	18,035	76.2%	9,750	54.1%
東邦航空株式会社 (TAL)	90	51	56.7%	45	88.2%	90	24	26.7%	17	70.8%	180	75	41.7%	62	82.7%
バニラ・エア株式会社 (VNL)	3,960	2,993	75.6%	2,244	75.0%	5,040	4,333	86.0%	3,362	77.6%	9,000	7,326	81.4%	5,606	76.5%
計	393,040	284,103	72.3%	165,224	58.2%	405,108	310,514	76.6%	170,994	55.1%	788,592	588,888	74.7%	336,218	57.1%

7. 日集計表：利用に際しての留意事項について

平成 29 年度の調査結果について、平日調査・休日調査の別に、第 2 部「平日調査 集計結果」・第 3 部「休日調査 集計結果」として、集計表（表 1 から表 15）をそれぞれ整理している。また、次頁以降の各項目において、各表の読み方や利用に際して特に留意する必要がある点を記載するものである。

なお、本表に掲載するいずれの集計表も、本調査に対して回答をした旅客数（回答数）を集計したものである点に留意されたい。

表1 OD表（空港間純流動表）

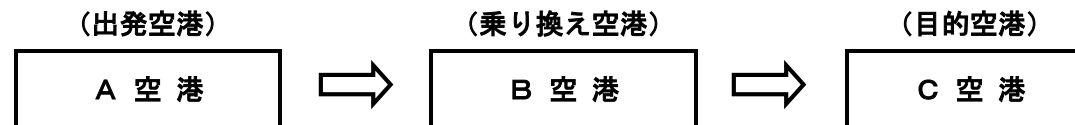
表1は、回答者の調査実施日における空港間の純流動ベースでのODを示した表であり、国内線の乗継の有無にかかわらず、回答者の出発地側の利用空港（出発空港）と目的地側での利用空港（目的空港）の2地点間のトリップ（目的を持った移動）に絞った集計表である。

このため、表1の総トリップ数と回答者数は一致する。

以下の例に示すとおり、調査実施日にA空港を出発してB空港で国内線乗りつぎ、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A 空港] → [C 空港] のトリップを行なった旅客として集計される。

このため、純流動ベースのOD表においては、航空路線が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例 （乗り換えを1回行った場合）



目的空港	A	B	C
出発空港			
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

この場合、A空港からC空港への移動としてカウントされる。

表 2 OD表（空港間総流動表）

表 2 は、調査実施日の各路線における回答者数について集計したものであり、空港間の総流動ベースの OD 表である。

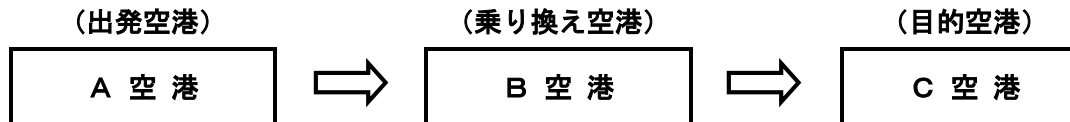
空港間総流動は、一人の回答者が複数路線を乗りついた場合にも、利用した各々の路線に一人ずつを計上する点において、表 1（空港間純流動表）と異なっている。

以下の例に示すとおり、A 空港を出発し、B 空港で国内線乗りつぎ、最終的に C 空港に至った旅客は、[A 空港] → [B 空港] の区間を 1 トリップ、乗りつぎ先の [B 空港] → [C 空港] の区間を 1 トリップの計 2 トリップとして集計される。

したがって、空港間総流動ベースの OD 表では、原則として航空路線が開設・運航されている空港間の流動が集計される。ただし、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田－羽田間等）も表 2 の集計値に含むものである。

例

（乗り換えを 1 回行った場合）



目的空港			
	A	B	C
出発空港			
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

この場合、A 空港から B 空港、B 空港から C 空港への移動がそれぞれカウントされる。

表3 OD表（県間流動表）

表3は、回答者の出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の移動の観点から、都道府県間における流動量を集計したものであり、純流動ベースのOD表である。

すなわち、回答者がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空路を利用したのかについて集計したものであり、航空路の存在しない都道府県間の流動も存在する。また、都道府県内々の空港を結ぶ航空路線があるため、同一都道府県内々の流動も存在している。

なお、調査実施日において、国際線から国内線への乗りつぎ（または、その逆）を行った回答者については、「海外」を出発地（または、目的地）として集計をしている。また、出発地・目的地が無回答や不明な回答の場合には、「不明」として集計をしている。

表4 空港別 出発地・目的地・現住所

表4は、回答者が利用した出発空港（または目的空港）について、空港を点とした利用範囲の広がりに着目して集計をしたものである。集計項目は、当該空港で国内線に搭乗した回答者の出発地、降機した回答者の目的地（と乗降した回答者の合計値）、並びに当該空港における乗降者の現住所地を示している。

なお、国内線を乗り継いだ回答者は、出発空港と目的空港について集計し、乗継空港の利用は集計に含まない。このため、表1（空港間純流動表）の各空港の出発／到着回答者数と表4の集計値は一致する。

例）表4 空港別 出発地・目的地・現住所（羽田空港）

休日 表4 空港別 出発地・目的地・現住所 (41)										単位：人
東京国際（羽田）		出発旅客数(出発地)		到着旅客数(目的地)		合計(乗降旅客数)		乗降客の現住所		
地区名			%		%		%		%	
東京都	合計	3843	8.8	4869	10.8	8712	9.8	5955	6.6	
	千代田区	689	1.6	694	1.5	1383	1.6	191	0.2	
	中央区	836	1.9	804	1.8	1640	1.9	512	0.6	
	港区	1444	3.3	1281	2.8	2725	3.1	799	0.9	
	新宿区	1045	2.4	861	1.9	1906	2.2	719	0.8	
	文京区	366	0.8	487	1.1	853	1.0	498	0.5	
	台東区	422	1.0	345	0.8	767	0.9	365	0.4	
項目		内容								
○出発旅客数 （出発地）		- 羽田空港発の国内線に搭乗した回答者の「出発地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「出発地」とは、調査当日の回答者のトリップにおいて、羽田空港に向けて移動を始めた地点である。なお、羽田空港にて国内線を乗り継いだ回答者は、表4の集計値に含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 - 上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した回答者が689人であったことを示している。 ※羽田空港を出発した各回答者の到着地については、各々の目的空港における「到着旅客数（目的地）」の項目に集計される。								
○到着旅客数 （目的地）		- 羽田空港着の国内線を降機した回答者の「目的地」について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。「目的地」とは、羽田空港から先の回答者のトリップにおける目的地を意味している。なお、羽田空港で降機後、別の国内線を乗り継いだ回答者は表4の集計値には含まない（例：新千歳 発→羽田 乗継→那覇 着など）。 - 上記の例では、羽田空港に到着した回答者のうち、千代田区を目的地とする回答者が694人であったことを示している。 ※羽田空港に到着した各回答者の出発地については、各々の出発空港における「出発旅客数（出発地）」の項目に集計される。								
○合計(乗降旅客数)		「出発旅客数（出発地）」と「到着旅客数（目的地）」の項目の合計値を示している。								
○乗降客の現住所		- 羽田空港を利用した回答者の現住所地について、市区郡（または、町村）別に人数を集計したものである。なお、羽田空港で国内線を乗り継いだ回答者は表4の集計値には含まない。 - 上記の例では、羽田空港を利用した回答者のうち、191人が千代田区を現住所地と回答したことを示している。								

表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数

表5は、各空港における回答者の国内線乗継利用の割合を示すものである。表中の「出発旅客数(A)」「到着旅客数(B)」は表1（空港間純流動表）による空港別回答者数（各空港を出発空港・目的空港とする回答者数）である。また、各空港内で国内線間の乗継利用をした回答者数を(D)欄にて示し、国内線を乗り継ぐ為に他空港との地上移動を行った回答者は(C)欄に含まず、外部乗継者数として(D)欄に記載している。

例) 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数

平日 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数 (1) 単位：人

空港名	出発旅客数 (A)	到着旅客数 (B)	合計 (C) (A) + (B)	乗継旅客数 (D) (当空港内)	外部乗継者数 (E) (当空港外)	取扱旅客数 (F) (C) + [(D) × 2] + (E)	乗継旅客率 % (D) × 2 ÷ (E)
稚内	130	106	236	1	0	238	0.8
釧路	782	847	1,629	8	0	1,645	1.0
函館	1,379	1,425	2,804	21	0	2,846	1.5
旭川	624	818	1,442	2	2	1,448	0.3
帯広	713	265	978	5	0	988	1.0
利尻	13	13	26	0	0	26	0.0
中標津	153	182	335	7	0	349	4.0
紋別	92	121	213	0	0	213	0.0
女満別	887	833	1,720	1	0	1,722	0.1

○出発旅客数(A)	・表1（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別出発回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○到着旅客数(B)	・表1（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別到着回答者数。 ※(D)、(E)欄と重複しない。
○乗継旅客数(D) (当空港内)	・当空港において国内線間の乗継を行った回答者数。
○外部乗継者数(E) (当空港外)	・当空港と周辺の別空港との間で、国内線を乗り継ぐ為に陸上を移動した回答者数。(D)欄の外数。 ・例) 旭川空港内で国内線を乗り継いだ回答者は2人。別途、周辺空港との間を地上移動した回答者が2人。
○取扱旅客数(F)	・調査実施日における当該空港を利用した回答者の合計。但し、(D)欄を乗降の別で計上するために、2倍した数字を(F)欄に計上している。また、(E)欄は一方が当該空港外となるため、片側のみ計上する。
○乗継旅客率	・当該空港を利用した回答者数全体に対する、国内線間の乗継利用の割合。

表6 OD別 旅行目的

表6は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行目的の状況を集計したものである。

空港間ODペアは、直行便の運航がある平日調査231区間・休日調査229区間、並びに直行便が運航していないが、20件以上の空港間ODが確認された区間について記載し、20件未満の場合には、「その他OD」にまとめて記載するものである（以降、表7・8・9-3・9-4・10も同様）。

表7 OD別 旅行日数

表7は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行日数の状況を集計したものである。併せて、「日帰り」以外の旅客については、本調査を受けた日が旅行中の何日目であるのか、集計して示している。

「調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）」の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 表7 OD別 旅行日数

休日 表7 OD別 旅行日数 (1)																								単位: 人
OD名	旅行日数										調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）													
	日帰り	%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日目以上	%	不明	合計
羽田-新千歳	450	3.0	3,905	26.0	4,335	28.9	1,766	11.8	4,554	30.3	819	15,829	3,854	35.7	2,329	21.6	2,109	19.6	689	6.4	1,805	16.7	4,593	15,379
羽田-伊丹	179	2.2	2,376	29.8	2,844	35.7	861	10.8	1,711	21.5	386	8,357	2,021	35.0	1,456	25.2	1,436	24.9	390	6.8	470	8.1	2,405	8,178
羽田-福岡	204	1.8	2,084	18.2	2,575	22.5	1,329	11.6	5,274	46.0	482	11,948	2,328	41.2	1,226	21.7	1,181	20.9	541	9.6	380	6.7	6,088	11,744
羽田-那覇	143	2.3	1,184	18.7	2,649	41.9	1,307	20.7	1,040	16.4	329	6,652	1,790	36.5	643	13.1	1,403	28.6	650	13.3	412	8.4	1,611	6,509
伊丹-新千歳	16	0.7	700	30.7	925	40.6	331	14.5	308	13.5	74	2,354	561	31.9	455	25.9	509	28.9	166	9.4	68	3.9	579	2,338
伊丹-福岡	21	2.2	154	16.2	118	12.4	47	4.9	611	64.2	43	994	23	8.6	113	42.0	74	27.5	34	12.6	25	9.3	704	973
伊丹-那覇	27	1.8	318	20.8	476	31.2	161	10.5	546	35.7	56	1,584	186	21.5	219	25.3	316	36.5	70	8.1	74	8.6	692	1,557
福岡-新千歳	12	1.0	235	19.4	360	29.7	131	10.8	473	39.1	51	1,262	161	23.6	158	23.1	239	35.0	67	9.8	58	8.5	567	1,250
福岡-那覇	55	2.1	433	16.6	740	28.5	460	17.7	913	35.1	168	2,769	429	31.6	248	18.2	382	28.1	196	14.4	104	7.7	1,355	2,714
成田-新千歳	88	2.6	1,153	33.8	889	26.0	230	6.7	1,054	30.9	165	3,579	280	12.0	860	36.8	650	27.8	167	7.1	379	16.2	1,155	3,491

表8 OD別 旅行行程

表8は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行行程の復路〔帰り〕に利用する予定の交通機関（復路に調査を受けた回答者は、往路〔行き〕に利用した交通機関）の状況について集計をしたものである。

表 9-1 路線別 利用航空券の種類 / 表 9-2 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表 9-1 は、旅客が回答をした搭乗便（路線）における「利用航空券の種類」、並びに「座席の種類」について集計している。利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“乗継割引”、“マイレージ特典”、“回数券”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の区分にて集計している。

表 9-2 は、“その他割引運賃”について、具体的な航空運賃の回答結果を基に、回答者搭乗便の普通運賃（平成 29 年 10 月時点）に対する割引率を算出した上で、7 区分にて集計をしている。また、普通運賃が複数存在する路線については*印を示し、表中の金額は代表として大手航空会社（JAL/ANAグループ）の普通運賃（運航が無い場合はより高額の運賃）を掲載している。

例）表 9-1 路線別 利用航空券の種類

休日 表 9-1 路線別 利用空港券の種類 (1)																	単位：人					
路線名	航空券の種類										座席の種類											
	普通運賃	%	往復割引	%	乗継割引	%	マイレージ 特典	%	回数券	%	団体・バック	%	その他 割引運賃	%	不明	合計	普通席	%	普通席 以外	%	不明	合計
旭川-羽田	185	14.5	95	7.4	17	1.3	139	10.9	1	0.1	347	27.2	494	38.7	61	1,339	1,225	94.3	74	5.7	40	1,339
旭川-中部	8	16.0	5	10.0	0	0.0	4	8.0	0	0.0	18	36.0	15	30.0	4	54	47	92.2	4	7.8	3	54
伊丹-徳枝	5	13.5	6	16.2	2	5.4	3	8.1	0	0.0	3	8.1	18	48.6	2	39	35	97.2	1	2.8	3	39
伊丹-羽田	493	12.1	491	12.1	56	1.4	386	9.5	130	3.2	662	16.3	1,853	45.5	183	4,254	3,456	83.8	666	16.2	132	4,254
伊丹-花巻	49	19.7	45	18.1	0	0.0	17	6.8	0	0.0	68	27.3	70	28.1	8	257	233	94.3	14	5.7	10	257
伊丹-宮崎	97	16.7	83	14.3	9	1.5	37	6.4	0	0.0	139	23.9	216	37.2	45	626	530	90.9	53	9.1	43	626
伊丹-熊本	61	14.8	56	13.6	8	1.9	16	3.9	1	0.2	80	19.4	190	46.1	29	441	410	98.3	7	1.7	24	441

例）表 9-2 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

休日 表 9-2 路線別 利用空港券の種類（「その他割引」の割引率の内訳																	単位：人
路線名	平成29年10月 普通運賃	割引率の内訳															その他割引 合計
		その他割引 (0～10%)	%	その他割引 (11～20%)	%	その他割引 (21～30%)	%	その他割引 (31～40%)	%	その他割引 (41～50%)	%	その他割引 (51～60%)	%	その他割引 (61%～)	%	その他割引 (不明)	
*羽田-新千歳	37,500	69	1.6	185	4.4	224	5.3	364	8.6	502	11.9	1,056	25.0	1,826	43.2	1,314	5,540
*羽田-伊丹	25,200	44	1.6	23	0.8	85	3.1	249	9.1	688	25.0	1,125	40.9	537	19.5	811	3,562
*羽田-福岡	41,100	57	1.6	118	3.2	170	4.7	564	15.5	315	8.7	693	19.0	1,724	47.3	960	4,601
*羽田-那覇	45,800	10	0.7	39	2.7	32	2.2	135	9.2	148	10.1	130	8.8	976	66.4	440	1,910
*伊丹-新千歳	46,300	4	0.9	13	2.9	6	1.3	23	5.1	49	11.0	80	17.9	272	60.9	201	648
*伊丹-福岡	24,600	7	2.1	8	2.4	6	1.8	55	16.7	76	23.1	117	35.6	60	18.2	120	449
*伊丹-那覇	20,400	2	1.0	6	2.7	0	0.0	16	0.0	24	14.6	21	10.0	76	46.2	110	200

◎例えば、羽田－新千歳を利用した 69 人は、普通運賃 37,500 円の 0～10%引きの価格の航空券を利用したことを示している。

※なお、本調査は調査票の構造上、複数の国内線を乗り継ぐ場合には乗継先路線の利用航空券種を把握できない。

表 9-3 OD別 利用航空券の種類 / 表 9-4 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表 9-3・表 9-4 は、回答者の利用する空港間 OD 別に、表 9-1・表 9-2 を集計したものである。ただし、国内線を乗り継ぐ回答者については、利用する空港間 OD のうち、最初に搭乗した区間のみが集計対象であり、乗継先の区間については調査対象となっていない。直行便の無い区間における乗継運賃やパッケージツアーの利用状況の把握等に利用できる。

表 10 OD別 乗り換え空港

表 10 は、空港間純流動ベース（表 1）による空港間 OD ペアについて、直行便利用と国内線乗継利用の件数、並びに乗継空港について集計したもので、乗継利用の多い順に、上位 3 空港までの名称を掲載している。但し、2 回以上国内線を乗り継いだ回答者については、“2 回乗継”とし、空港名を挙げずに集計している。また、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田－羽田間等）も乗り換え回数として集計をしている。

表 11-1 出発空港別 最終アクセス手段 / 到着空港別 最初イグレス手段 / 駐車場利用の有無

表 11-1 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに最後に利用した交通手段（最終アクセス手段）、及び目的空港から目的地へ移動する際に、最初に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計をしている。なお、集計区分は調査票に記載の 16 区分にて行っている。

また、最終アクセス手段“自家用車”の回答者については、駐車場利用の有無について、“空港内（空港内の駐車場に停めている）”、“近辺（空港外の近くの駐車場に停めている）”、“無し（同乗者が乗って帰った）”の 3 区分にて集計をしている。

表 11-2 出発空港別 代表アクセス手段 / 到着空港別 代表イグレス手段

表 11-2 は、各空港のアクセス手段、イグレス手段として回答された複数の交通手段について、優先順位の高い交通手段を代表手段として集計している。交通手段の優先順位は下記のとおりとした。

【順位設定】（航空）＞（軌道系交通）＞（船舶）＞（道路交通）＞（その他）

選択肢：1. 国際線＞2. 新幹線＞3. 有料特急＞4. JR 在来線＞5. 私鉄・地下鉄＞6. モノレール＞7. 船＞8. 空港直行バス＞

9. 高速バス＞10. 貸切・観光バス＞11. 路線バス・市内電車＞12. タクシー・ハイヤー＞13. レンタカー＞14. 自家用車等＞15. その他

表 12 出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数

表 12 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、アクセス交通の乗換回数について集計をしたものである。

表 13 出発空港別アクセス経費

表 13 は、各空港について、回答者が出発地から出発空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。
なお、公共交通機関だけでなく、自家用車等の利用者も集計に含んでいる。

表 14 出発空港別見送り人数・空港滞留時間

表 14 は、各空港について、回答者「1 人当たりの見送り人数」と、出発空港に到着してから搭乗便出発までの「空港滞留時間」について集計したものである。

回答者「1 人当たりの見送り人数」は、「見送り人数（問 4-3）」÷「本人含む同行者数（問 4-1）」として計算したものである。

表 15-1 空港間移動の手段 / 表 15-2 空港間移動の所要時間 / 表 15-3 空港間移動の経費

表 15 は、海外から国際線を利用して成田空港・関西空港・中部空港のいずれかの国際空港に到着した回答者のうち、国際線到着空港とは異なる空港から国内線に搭乗した回答者を対象として、空港間の地上移動の状況を集計したものである。

集計は下記の 4 区間について行っている。

【集計区間】

① 海外 発 → (国際線) →	成田空港 → (地上移動) → 羽田空港	→ (国内線) → 国内各空港
② 海外 発 → (国際線) →	関西空港 → (地上移動) → 伊丹空港	→ (国内線) → 国内各空港
③ 海外 発 → (国際線) →	関西空港 → (地上移動) → 神戸空港	→ (国内線) → 国内各空港
④ 海外 発 → (国際線) →	中部空港 → (地上移動) → 小牧空港	→ (国内線) → 国内各空港

<集計対象区間>

<本調査を受けた区間>

附表 1 路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）

附表 2 路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）

附表 1／附表 2 は、国内線と国際線の乗継利用の状況について集計したものであり、海外を出発地、もしくは海外を目的地とした回答者に着目した集計表としている。

附表 1 は、海外を出発地とする回答者の「国際線到着空港」と、乗り継いだ先の国内線（路線名）について示している。なお、国内線を複数区間乗り継ぐ場合には、最初に搭乗する路線を集計している。

附表 2 は、海外を目的地とする回答者の「国際線出発空港」と、最後に利用する国内線（路線名）について示している。すなわち、国内線を複数区間乗り継いだ場合には、最後に搭乗予定の路線を集計している。

例) 附表 1 海外→国内線乗継

着 発		乗継先国内線（行き先空港名）								
		釧路	函館	旭川	帯広	女満別	新千歳	青森	仙台	秋田
新千歳発 国内線 計	新千歳	1				10				
	羽田					10				
	成田									
国際線到着空港内訳	中部	1								
	不明									
	不明									
仙台発 国内線 計	仙台					2				
	羽田					2				
	成田									
国際線到着空港内訳	中部									
	不明									
	不明									
成田発 国内線 計	羽田	1				130			76	
	成田					1			1	
	中部	1				129			75	
国際線到着空港内訳	中部									
	不明									
	不明									
茨城発 国内線 計	茨城									
	羽田	6	7	16	5	6	61	15	29	
	成田	5	2	8	5		37	10	20	
国際線到着空港内訳	中部	1	4	7			23	5	7	
	不明									
	不明									
羽田発 国内線 計	羽田									
	成田									
	中部									
国際線到着空港内訳	中部									
	不明									
	不明									

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を出発地とし、羽田発新千歳行きの国内線を利用した回答者61名のうち、37名は羽田、23名は成田に国際線に到着したと回答し、1名の国際線到着空港名が不明であったことを示している。

なお、附表 1／附表 2 共に、日本籍・外国籍を合わせた集計結果であるが、調査票は一部の設問（問 5・問 6）を除いて日本語のみで質問を行っており、日本語を理解できない場合には、国際線利用空港を回答出来ない点に留意する必要がある。

例) 附表 2 国内線→海外乗継

		国内線出発空港（最終利用区間の出発空港）								
		札幌	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	新千歳	青森	三沢
国内線目的空港	新千歳発 国内線 計						2			
	国際線出発空港内訳						2			
	不明									
成田発 国内線 計	成田			3			60			
	羽田			3			58			
	不明									
羽田発 国内線 計	羽田	2	1	7	11	9	4	71	22	11
	成田	2	1	3	9	7	2	33	10	6
	中部				2	2	2	37	12	5
国際線出発空港内訳	関西									
	福岡									
	不明							1		
静岡発 国内線 計	静岡									
	国際線出発空港内訳									
	不明									
小松発 国内線 計	小松									
	国際線出発空港内訳									
	不明									
小牧発 国内線 計	小牧									
	国際線出発空港内訳									
	不明									
中部発 国内線 計	中部							6		
	国際線出発空港内訳							6		
	不明									
伊丹発 国内線 計	伊丹									
	国際線出発空港内訳									
	不明									

例えば、
左に例示する赤丸は、海外を目的地とし、旭川発羽田行きの国内線を利用した回答者 11 名のうち、9 名は羽田、2 名は成田から国際線に搭乗すると回答したことを示している。

【参考】各集計表の集計範囲

調査日において、回答者Nが下図の様な動きをした場合、その行動は次頁に示すように集計される。

(回答者Nの動き)

- C県に在住の回答者Nが、A県 a市を出発し、B県のX空港にて国内線（第1区間）に搭乗し、Y空港で国内線（第2区間）を乗りつぎ、C県のZ空港で降機後、陸上交通で目的地C県 c市に移動した場合。

イメージ図

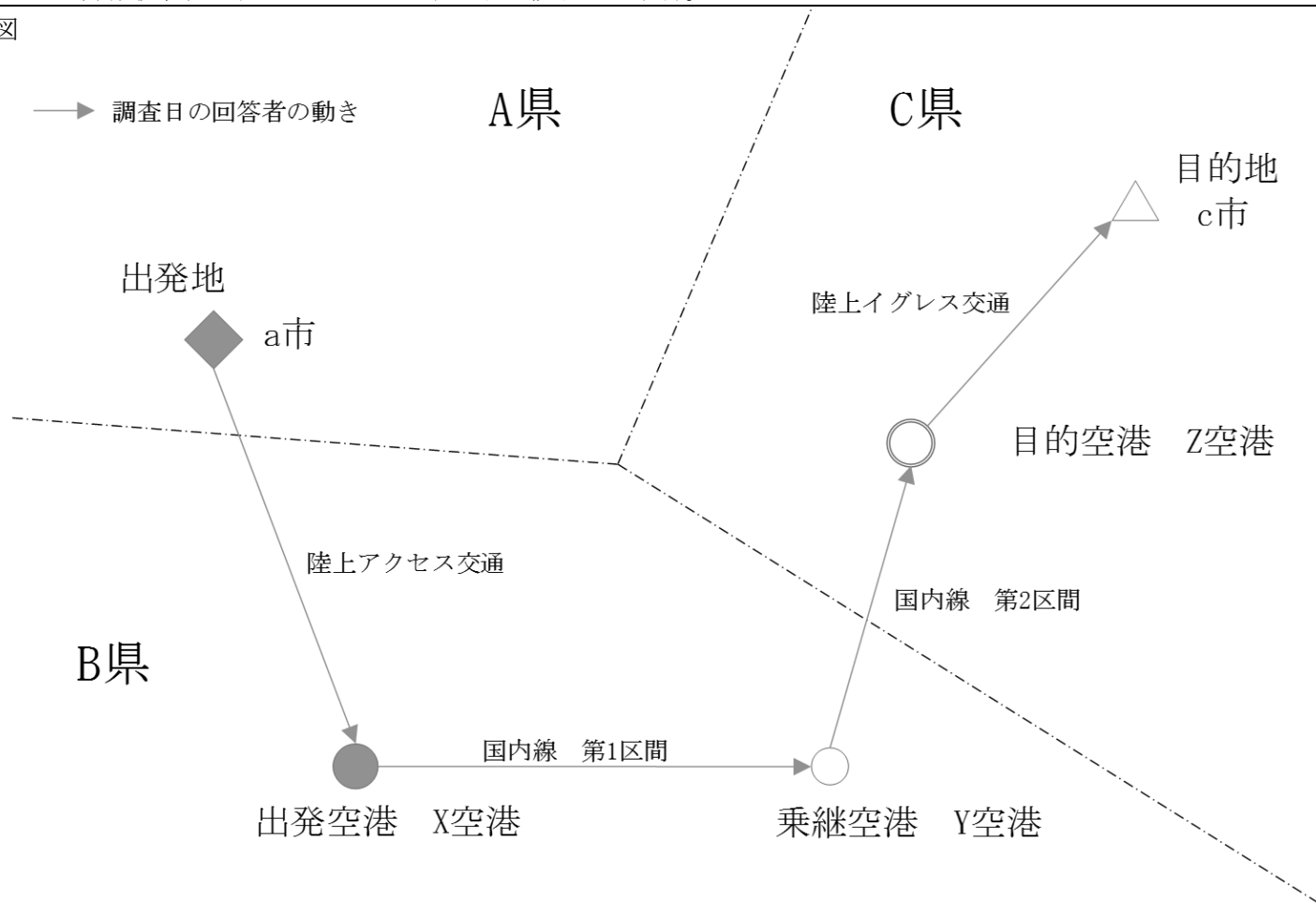


表 1 空港間純流動表

- X 空港→Z 空港への移動を 1 トリップとして集計。

表 2 空港間総流動表

- X 空港→Y 空港、Y 空港→Z 空港への移動をそれぞれ 1 トリップ、計 2 トリップとして集計。

表 3 県間流動表

- A 県→C 県への移動を 1 トリップとして集計。

表 4 空港別 出発地・目的地・現住所地

- A 県 a 市を X 空港の出発地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。
- C 県 c 市を Z 空港の目的地として集計。回答者 N の現住所として C 県を集計。

表 5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数

- 回答者 N は、X 空港の出発客、Y 空港の乗り換え客（× 2）、X 空港の到着客として集計される。

表 6 OD 別旅行目的／表 7 OD 別旅行日数／表 8 OD 別旅行行程

- 回答者 N の旅行目的／日数／行程は、空港間 OD（X 空港発 Z 空港着）の情報として集計される。

表 9-1、9-2 路線別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Y 空港路線（国内線第 1 区間）の情報として集計される。

表 9-3、9-4 OD 別利用航空券の種類／その他割引率の内訳

- 回答者 N の利用航空券の種類・割引率の情報は、X 空港－Z 空港間 OD の情報として、X－Y 空港間の利用券種等の情報が集計される。

表 10 OD 別乗り換え空港

- 回答者 N は、X 空港～Z 空港間の流動に対する、Y 空港乗継利用者として集計される。

表 11 出発空港別最終アクセス手段・到着空港別最初イグレス手段・駐車場利用の有無

- 回答者 N のアクセス交通手段と駐車場利用の有無は、X 空港の情報として集計される。また、利用したイグレス交通は Z 空港のものとして、集計される。

表 12 出発空港別アクセス所要時間・乗り換え回数／表 13 出発空港別アクセス経費／表 14 出発空港別見送り人数・空港滞留時間

- 回答者 N のアクセス所要時間、乗り換え回数、経費、見送り人数、空港滞留時間は、いずれも空港 X の情報として集計される。

回答者属性 単純集計表（性別・年齢・職業・年収・現住所）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		回収数(人)	構成比	回収数(人)	構成比
性別	男性	90,066	61.6	81,783	53.4
	女性	56,224	38.4	71,302	46.6
	(不明)	18,934 -		17,909 -	
	合計	165,224	100.0	170,994	100.0
年齢	14歳以下	5,677	3.8	7,659	4.9
	15～19歳以下	2,420	1.6	3,712	2.4
	20～24歳以下	7,294	4.8	8,214	5.2
	25～29歳以下	9,928	6.6	12,594	8.0
	30～34歳以下	11,529	7.6	12,869	8.2
	35～39歳以下	12,666	8.4	12,441	7.9
	40～44歳以下	15,308	10.1	14,440	9.2
	45～49歳以下	16,597	11.0	15,988	10.2
	50～54歳以下	17,042	11.3	17,214	11.0
	55～59歳以下	16,135	10.7	16,687	10.6
	60～64歳以下	13,635	9.0	13,859	8.8
	65～69歳以下	11,927	7.9	11,265	7.2
	70～74歳以下	6,100	4.0	5,448	3.5
	75～79歳以下	3,187	2.1	2,866	1.8
	80歳以上	1,837	1.2	1,936	1.2
	(不明)	13,942 -		13,802 -	
	合計	165,224	100	170,994	100
職業	管理的職業(役員・管理職員)	31,891	21.6	24,382	15.9
	専門・技術・事務関係職業	35,791	24.3	43,564	28.4
	販売・サービス関係職業	22,385	15.2	18,355	12.0
	農林漁業関係職業	1,976	1.3	1,738	1.1
	生産・運輸関係職業	3,930	2.7	4,860	3.2
	その他の職業	18,046	12.2	22,361	14.6
	中学生以下	5,377	3.6	7,330	4.8
	高校生以上の学生	4,919	3.3	6,634	4.3
	主婦・主夫(職業従事者を除く)	23,264	15.8	24,349	15.9
	(不明)	17,645 -		17,421 -	
	合計	165,224	100	170,994	100
年収(税込み)	なし	18,882	13.3	23,036	15.8
	100万円未満	8,771	6.2	9,857	6.7
	100～199万円	8,957	6.3	10,299	7.0
	200～299万円	12,581	8.8	14,545	9.9
	300～399万円	13,849	9.7	16,675	11.4
	400～499万円	13,481	9.5	14,858	10.2
	500～699万円	20,073	14.1	19,345	13.2
	700～999万円	21,356	15.0	17,458	11.9
	1,000～1,499万円	15,454	10.9	12,162	8.3
	1,500～1,999万円	4,261	3.0	3,769	2.6
	2,000万円以上	4,638	3.3	4,240	2.9
	(不明)	22,921 -		24,750 -	
	合計	165,224	100.0	170,994	100.0

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		回収数(人)	構成比	回収数(人)	構成比
現住所	北海道	15,695	10.0	19,098	11.8
	青森県	953	0.6	1,143	0.7
	岩手県	542	0.3	685	0.4
	宮城県	2,338	1.5	2,519	1.6
	秋田県	1,134	0.7	1,600	1.0
	山形県	864	0.6	1,035	0.6
	福島県	769	0.5	813	0.5
	茨城県	2,120	1.4	2,444	1.5
	栃木県	833	0.5	1,045	0.6
	群馬県	681	0.4	753	0.5
	埼玉県	6,436	4.1	7,040	4.3
	千葉県	8,121	5.2	8,072	5.0
	東京都	24,145	15.4	23,885	14.7
	神奈川県	12,750	8.1	12,052	7.4
	新潟県	1,124	0.7	1,347	0.8
	富山県	657	0.4	783	0.5
	石川県	1,102	0.7	1,124	0.7
	福井県	406	0.3	469	0.3
	山梨県	285	0.2	523	0.3
	長野県	680	0.4	700	0.4
	岐阜県	1,121	0.7	1,257	0.8
	静岡県	1,620	1.0	1,787	1.1
	愛知県	6,266	4.0	7,279	4.5
	三重県	1,142	0.7	1,243	0.8
	滋賀県	759	0.5	759	0.5
	京都府	1,609	1.0	1,669	1.0
	大阪府	10,303	6.6	10,184	6.3
	兵庫県	6,931	4.4	6,674	4.1
	奈良県	1,082	0.7	1,093	0.7
	和歌山県	871	0.6	757	0.5
	鳥取県	783	0.5	923	0.6
	島根県	851	0.5	1,003	0.6
	岡山県	1,413	0.9	1,490	0.9
	広島県	2,072	1.3	1,495	0.9
	山口県	1,356	0.9	1,595	1.0
	徳島県	881	0.6	1,012	0.6
	香川県	1,245	0.8	1,084	0.7
	愛媛県	2,252	1.4	1,574	1.0
	高知県	935	0.6	1,317	0.8
	福岡県	10,688	6.8	10,052	6.2
	佐賀県	1,246	0.8	1,194	0.7
	長崎県	2,589	1.7	2,742	1.7
	熊本県	3,037	1.9	3,100	1.9
	大分県	1,330	0.8	1,935	1.2
	宮崎県	2,692	1.7	2,714	1.7
	鹿児島県	3,686	2.4	3,204	2.0
	沖縄県	6,262	4.0	5,805	3.6
	(不明)	8,567 -		8,923 -	
	合計	165,224	100.0	170,994	100.0

